

マンション自主防災訓練等 項目表

分類	項目名	概要
マンション 自治会・管理組合等が 自主的に取り組む訓練 (注)	防災会議の実施	防災役員を中心とした定例会を開催し、マンションの防災力向上のための協議を行います。
	自主防災組織の結成	発災時に組織的な応急活動が実施できるように、自治会や管理組合等を中心とした「自主防災組織」を結成します。
	災害対応マニュアルの作成	災害に備えて、役員や組織の編成、どのように行動するか等を決め、マニュアル化します。これにより、災害時の初動体制等の強化につなげることができます。
	防災設備点検	消火器の設置位置、屋内消火栓の位置、備蓄倉庫の位置、備蓄物資の内容等を定期的に点検します。
	備蓄物資の充実	住民の特性・属性などを考慮した食糧、水、簡易トイレ等の備蓄を準備し、リスト等を作成する。作成したリスト等を共有・確認ができるように住民へ配布し、災害に対する備えを促します。
	防災意識の高揚	掲示板や回覧等を利用して防災意識の高揚を図ります。特に家具転倒防止器具の設置など自助による備えを促します。
	本部設置訓練	発災時を想定し、所定の場所へ参集し、本部を立ち上げます。安否確認や設備点検等、必要な活動を洗い出し、役割分担を行います。
	情報伝達訓練	設定した被害情報に基づき、安否情報や被害情報を収集します。各階またはブロックごとにその情報を集約し、本部へ伝達します。
	安否確認訓練	安否確認票を作成し、各戸に配付し、扉に張り付けておいてもらいます。各戸に張り出された安否確認票を基に安否情報を収集し、情報伝達担当へ報告します。
	避難誘導訓練	マンション内にあるオープンスペース等へ住民を誘導する訓練を行います。また、避難場所への誘導訓練をあわせて行います。その際、避難経路上の危険箇所等も確認を行います。
物資運搬訓練	高層階への備蓄品の配給を想定し、搬送訓練を行います。保管場所の見直しなど、円滑に物資を運搬できる方法を検討します。	
消防署が協 力する訓練	初期消火訓練	消火器や小型消防ポンプ等資機材の使用方法を訓練します。
	応急救護訓練	三角巾の使い方や止血法、AEDの使用方法を訓練します。
	救出救護訓練	バール等救助工具の使用方法を訓練します。また、地震発生時のエレベータの動きや閉じ込められた際の対応について確認を行います。
区が協 力する訓練等	防災講話	専門知識を持つ防災アドバイザーを派遣します。区の施策を紹介しながら実践的な防災対策の支援を行います。
	防災DVD鑑賞	自助・共助の取組みを周知するために防災DVDの貸出を行っています。
	長周期地震動体験	シミュレーターを使用し、ゆっくりと大きく揺れる長周期地震動を体験できる訓練です。
	起震車体験	地震体験を通じて、地震発生時の適切な行動を体得していただくために、起震車を派遣しています。

(注) 自主的に行う「防災会議」、「自主防災組織の結成」や「本部設置訓練」などの相談等は、新宿区危機管理課又は防災センターへお問い合わせください。